

【安房地域】平成 30 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	南房総市	品種	夢あおば
土性	埴壤土	播種日	3月19日
播種量	160g/箱	移植日	4月21日
幼穂形成期	6月23日	出穂期	7月18日
成熟期	8月27日	収穫日	8月27日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	105cm	穂長	22cm
穂数	350本/m ²	倒伏程度	0
粗玄米重	730kg/10a	標準単収値	499kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：10.5kg/10a ※肥料銘柄：高度化成
 - ・(追肥) N量：1.4kg/10a ※肥料銘柄：高度化成
- 追肥実施日：6月25日

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月21日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：52株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：－

4 考察等

粗玄米重は高かったものの、紋枯病により登熟歩合が低くなり、くず米の発生が多かった。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥 N 量	9 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します